

## 〈令和5年度 インターンシップ参加学生へ質問〉

### ○自己紹介をお願いします。

神戸大学経済学部3回生の内島楓太です。雲仙市出身で、将来的には地元に戻ってきたいと考えています。

### ○インターンシップのきっかけはなんですか？

夏休み期間中に、民間企業や自治体のインターンシップに参加する友人が多く、私も参加しておきたいと思ったことがきっかけです。私は大学卒業後に公務員として働きたいと考えており、県や市といった自治体での業務を実際に体験してみたいと思い、インターネットで様々な自治体のインターンシップを探していたところ、地元である雲仙市がインターンシップの受け入れを実施するという情報を目にしたため、今回のインターンシップに応募しました。

また、多くの自治体が1日～3日程度の期間だったのに対し、雲仙市役所は5日間の実施であるため、より多くの業務に携わることができ、市役所の仕事について深く知り、実際の現場の雰囲気を感じることができるといった点も応募の決め手となりました。

### ○インターンシップの内容はどのようなものでしたか？

窓口での業務やデスクワーク、実際に市内の現場に向向いて行う聞き取り調査など、毎日異なる業務を体験させていただきました。

1日目	午前	オリエンテーション、雲仙市の概要説明
	午後	雲仙市内視察
2日目	午前	空き家バンク活用のための空き家調査
	午後	市が運営するインスタグラムでの雲仙市の魅力発信
3日目	午前	国見総合支所での窓口業務補助
	午後	国見総合支所での窓口業務補助
4日目	午前	愛野図書室での業務補助
	午後	愛野図書室での業務補助
5日目	午前	人事課での事務補助
	午後	インターンシップのホームページ作成

○どのような体験をしましたか？

毎日異なる業務を体験させていただき、発見の多い毎日でした。5日間の業務すべてに、「市民のために働く」という点が共通していたように感じ、どれもやりがいのある仕事ばかりでとても貴重な体験となりました。

また、1日目の市内視察と2日目の地域づくり推進課での雲仙市の魅力発信では、雲仙市の新たな一面を知ることができました。18年間過ごした土地でもまだまだ知らない魅力がたくさんあり、とても新鮮でした。

○インターンシップを通して学んだことはなんですか？

今回の5日間のインターンシップを通して、幅広い業務を体験することができ、「市民のために働く」という仕事に対する姿勢、その大切さを学びました。今回体験させていただいた業務すべてにおいて、市民の方々との密接なつながりや温かさを感じ、それと同時に大きなやりがいを得られる仕事であると思いました。これは国や県の仕事ではなかなか感じることのできない、市の仕事の最大の特徴であると思います。

また、市民の日々の暮らしのために様々なことに取り組んでおり、自分が雲仙市民だった頃から取り組んでいた政策でも知らないものがたくさんありました。特に移住・定住政策に力を入れていて、手厚い支援・補助を受けられるという点はとても魅力的であると感じたため、もっと広めていきたいと思いました。

大学卒業後に公務員として働きたいという目標を掲げている私にとって、市役所の仕事に携わることができたこの5日間は大変有意義なものであり、モチベーションの向上にもつながりました。